

恐竜フランキーが日本にやって来た!

フランキーが鳴らす 気候変動への警鐘

「恐竜の絶滅は隕石が原因だが、人類の言い訳は?」「気候変動に対処するために言い訳をやめて立ち上がれ」
なんともショッキングなこのセリフは、国連開発計画(UNDP)が2021年に公開したキャンペーン動画「Don't Choose Extinction(絶滅を選ばな)」の中で、恐竜のキャラクター「フランキー」が人間に向かって語りかけたものです。

6600万年前に地球に隕石が衝突し恐竜が絶滅した際、フランキーは洞窟で昼寝をしていたため、奇跡的に生き延びました。目を覚ますと、地球は気候変動の影響で危機にひんし、人々は「もう十分対策をしている」「自分には気候変動の影響は少ない」など

の言い訳をしていました。世界の気温上昇を1.5度に抑えられるかは、今後数年間が勝負です。そこでフランキーは、人類を絶滅させかねない気候変動を止めるために行動を起こすよう、人類に警告しにやって来たのです。

初来日で JAL整備士と対談

大阪・関西万博開催を1年後に控えた今年4月、フランキーが初めて来日! 気候変動を食い止め、温室効果ガスの排出量正味ゼロの社会を実現するため、東京・大阪・京都・奈良の各地を巡り多くの人に行動変容を呼びかけました。4月10日には東京・羽田の「JAL SKY MUSEUM」を訪ね、航空業界が推進して

今回のテーマに該当する目標

フランキーを囲む、ハジアリッチ秀子UNDP駐日代表(右)とJAL整備士の正木。↑



来日したフランキーがJAL SKY MUSEUMを訪れ、気候変動対策について意見交換。写真提供(全て):国連開発計画(UNDP)



奈良・東大寺の歴史と自然環境との共存についての話を伺う。

奈良・川西町立川西小学校の子どもたちと交流。



国立科学博物館の真鍋真副館長と、大量絶滅の危機をテーマに対話。渋谷駅周辺で気候アクションを呼びかけ。



UNDPの 恐竜キャラクター フランキー

フランキー(Frankie)は、ユタラブルという恐竜のキャラクターです。これまでに、アメリカやエジプト、コロンビアやルワンダ、フランスなどを訪問。節電、公共交通機関の利用、廃棄食品の削減、声を上げるなど、気候変動を止めるために一人一人が毎日できることがあると伝えます。UNDPは世界120以上の国・地域で、温室効果ガス削減や気候変動対策を進める「気候の約束」という取り組みを行っています。

www.undp.org/ja/japan/climate-promise

動画

フランキーと
JAL整備士の
対談をお届け!



詳しくはこちら

いるCO₂排出量削減のためのさまざまな取り組み——省燃費機材の導入や運航の工夫、持続可能な航空燃料SAF(Sustainable Aviation Fuel)の調達、カーボンオフセットの仕組みなど——について、JAL整備士の正木千尋と対談を行いました。

「気候変動は人間の行動で引き起こされていて、このまま進むと近い将来、取り返しのつかない深刻な影響があることは明らかだ。個人も企業もスピードを上げてがんばって!」と話すフランキー。空の旅をこれからも続けていくように、私たちが今すぐ取

り組めることもたくさんあります。例えば、飛行機に乗る前にお手洗いにいく、飲み物は到着後に買う、上着を1枚減らすなど、荷物を軽くして飛行機に乗ることもCO₂排出量削減につながります。

気候変動は今、人類が丸ごと取り組むべき課題です。「恐竜と違って、人間たちには選択肢があるんだから人間や企業の皆さんにはもっともともとがんばってほしいな」というフランキーの呼びかけにこたえ、JALグループはより一層のスピード感を持って、気候変動対策に取り組んでまいります。

※JALはUNDPの「絶滅を選ばな」キャンペーンに賛同しています。※UNDPは特定のいかなる団体、ブランド、製品、サービスも推薦するものではありません。



2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。